

施術の幅を広げる - 応用編 -

下まつげエクステ施術マニュアル（メリット・デメリットを把握する）

下まつげエクステ装着のメリット・デメリット

【メニューに取り入れる前に確認しなければならないこと】

■装着のメリット

わずか5本～10本の装着で目元の印象が大幅に変わると共に、小顔になる印象を持たせることが可能。施術時間は平均15分～30分程度。上まつげエクステに比べ持続力が短いため、リペア・リピートまでの期間が短く、回転効率が向上する。

■装着のデメリット

ベースとなるまつげが短い為持続力は上まつげと比較するとかなり短い。少量の装着の場合は、1本外れただけでも目立つ為、事前のカウンセリングには十分注意すること。（下まつげエクステの持続力の短さや、1本外れた場合に目立つ可能性が高いという説明と、施術方法をお伝えする）

装着をお断りしなければならない顧客

■下まつげエクステの装着は、希望される顧客すべてに装着できるわけではない。

中には以下の事例で下まつげエクステ装着をお断りしなければならない場合もある。

- ①逆まつげ（角膜にエクステが常時触れる恐れがある）
- ②下まつげが生えていない・生えていないに等しいくらい少ない。
- ③まつげの間隔が開き過ぎていて部分的に装着すると違和感が出る。（理想的な場所に5本以上装着できない場合はお断りする）
- ④生え際から1mm以上離して装着できない方。
- ⑤白く薄い産毛ばかり生えている方（まつげの成長に支障をきたす恐れがある）

装着時に使用する施術パーツについて

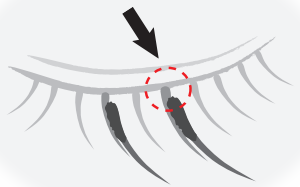
■装着時に使用する施術パーツは常に清潔な状態を維持しておくこと。

- ・太さ0.1mmあるいは0.15mmの5mm～7mmの柔らかいエクステ
- ・低刺激グルー（沁みにくいグルー）
- ・エアブロー
- ・低刺激性テープ（スキナゲートが理想）
- ・ツイーザー

CAUTION!

※エクステンションは皮膚に触れない部分、根元から1mm～2mm程度離れた所に装着します。この際、まつげの先端につけたり、接着面積が狭いと持続力は低下します。また、目に入ると大変危険ですので絶対に液だれするほどつけてはいけません。

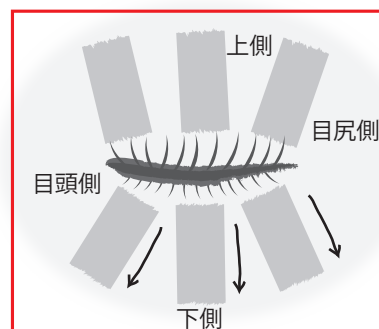
必ず1mm～2mmあけて装着



下まつげエクステの装着方法

- ①カウンセリング：顧客の自まつげ（上まつげ）に装着したエクステとのバランス・目元のデザインを考慮して装着サイズを決める。下まつげは1mmの違いでも大きく印象が変わる為、十分注意すること。
- ②前処理：まつげの汚れを前処理化粧水・クレンジング等を用いて取り除き、必要に応じてホットビューラー・コームブラシで整える。
- ③テープ固定-1：顧客にまばたきをされるほど施術は難しくなります。その対策として顧客に目を閉じて頂き、下まぶたを上から下にひっぱるようにテープで2カ所～3カ所固定する。（他にもいくつかの方法があります）
- ④テープ固定-2：上まつげが下まつげにくっつかないように上記③と同様に上まぶたを下から上に持ち上げる。※この際、顧客のまぶたの肉厚や目の形状によってアレンジが必要。
※テープ固定時の注意：下まぶた・上まぶた共に、持ち上げたりひっぱり過ぎると顧客の目が開いてしまいます。安全の為に、顧客の目は閉じた状態で施術してください。
- ⑤エクステ装着：グルーを適量付けエクステを装着する。必ずまつげの根元から1mm～2mm離れた場所に装着する。※この際、ツイーザーは目や肌に向かって使用せず、ツイーザー先端の位置を見失わないように十分注意する。※上からのせるように装着するのは容易だが、外れかけの際にエクステの根元部分が角膜に当たってしまう可能性がある為、避けること。
- ⑥グルーを乾かす：1本装着したらすぐにブロー等でグルーを乾かすこと。
- ⑦繰り返し：上記①～⑥を繰り返し、装着する。

※下まつげは数本でも目元の印象が変化するのでニーズは高いですが、細くて弱い毛が多いうえにクレンジングや洗顔時に刺激を受けやすいので上まつげと比べて持続力は短くなります。下まつ毛への施術が初めての方にはあらかじめ説明したほうが良いでしょう。



CHECK!

※目元・まぶたの形状は顧客によって様々です。下まつ毛の根元が見えやすい様に工夫をし、顧客の目元・まぶたに合わせたテーピングを行いましょう。

- ※ スクール等で本資料及び画像をご使用頂く際は、「提供：株式会社松風」とだけご記載頂ければ、ご自由にお使い頂けます。是非ご活用下さい。
- ※ 本資料は、下まつげエクステの装着方法に関する説明の一例を記載したものです。実際の方法については、お客様各々に合わせて最善の方法をサロン様のご判断により決定してください。